

9月議会 一般質問 (長谷川剛議員)

若者定着支援策と地元企業の採用促進は

商工観光部長「地元企業説明会、U-Jターンの移住相談など実施」

4日に行われた鶴岡市議会9月定例会の一般質問で、日本共産党の長谷川剛議員は、若者の地元定着について質問しました。

賃金格差是正、子育て支援が必要



めには、賃金格差の是正や子育て支援など、様々な組み合わせが必要と思う。

本市の若者定着への支援策と地元企業の採用促進について伺う。

問 市が行った鶴岡市の人口分析で、2014年から19年の年代別コーホート変化率のうち、20代男女の流出超過が大きな課題であるとしている。

高校卒業後世代を中心に流出が始まり、その後も20代後半まで流出傾向が続いていること、また、男性よりも女性のほうがより多く流出しているとの結果だった。

大学や専門学校などへの進学で本市を離れた若者が戻ってくるた

であり、毎年1000人以上の卒業生が本市を離れる実態が続いている。

地元定着促進として、地元企業の説明会をはじめ、保護者も含めた企業見学会の開催や、地元企業の情報を詳しく伝える事などに力を入れている。

また、進学や就職により県外に在任されている人に対する帰郷を促進する取り組みとして、東京と仙台を会場にした地元企業とのマッチング支援、同じ会場でハローワーク鶴岡による就職相談や、U-Jターンの対象にした移住相談も行っている。

雇用情報のみならず空き家や若者向け住宅などの不動産情報、子育て支援策といった各種支援制度についても紹介してきた。

問 一方で新型コロナウイルス



戦争法強行採決から5年経過したことを受け、9月18日鶴岡市役所前でスタンディングが行われ、市議や団体代表がリレートークしました。共産党市議団も参加しました。

の影響により、来春卒業の地元就職希望者が増加傾向であるとの報道もされているが、商工観光部長 新型コロナウィルスの感染拡大により、新規学卒者の就職活動にも大きな変化や影響が出ている。

市内企業への就職希望者に広く情報を伝えるため、動画による地元企業の紹介事業の開催に対し、今議会に補正予算案を上程した。

また、地元企業も選ばれるためのスキル向上が必要と考えおり、市ではプレゼンテーションの手法やインタビュの手法やインターシップの手法を研修するセミナーを開催し、地元企業の採用力の向上に取り組んでいる。

高校生の運転免許取得に助成を

問 高校生が地元企業に就職希望する際、多くの企業が「自動車の普通運転免許」取得は必須であり、その取得にかかる費用が負担となっている。

徳島県美馬市では、市内に就職が内定した高校生と卒業後1年以上の既卒者に20万円を上限に運転免許取得費用の一部助成を行っている。

本市でも自動車運転免許を取得する場合の経費に助成をする考えはないか伺う。

商工観光部長 美馬市の事例も参考にしながら、費用対効果の検証や事業実施前後の世代との不公平感などにも十分配慮しつつ、制度について研究していきたい。

「豊浦地区子ども見守りサポート事業」説明聞く

市議会人口減少・地域活性化特別委

鶴岡市議会「人口減少・地域活性化対策特別委員会」が15日行われ、長谷川剛市議と坂本昌栄市議が委員として出席しました。

委員会後の懇談会では「豊浦地区子ども見守りサポート事業」について、(2面に続く)

風力発電事業の経過について担当課が説明

第1回鶴岡市環境審議会

令和2年度第1回鶴岡市環境審議会が18日に開かれ、菅井巖市議と長谷川剛市議が傍聴しました。

報告では、当初審議する予定であった（仮称）山形県鶴岡市風力発電事業について、先日事業者が計画を白紙撤回したため、その概要とこれまでの経過について担当課より説明がありました。

質疑では委員から、「県の適地調査で2012年に策定公表されてきた事について」市の認識が問われ、当局からは「適地調査・公表については事業化が決まっているものではないとの認識ではない」との認識であった。

他の委員からは、「候補地の降雨調査が重要、大雨による下流域の洪水危険性が大きい、貴重な動植物もあり、景観配慮も重要なところで、今後こうした計画が出ないようにすべき」との要望が出されました。

協議では、令和4年度からの10年間を期間とする、第2次市環境基本計画の策定に向けてのすすめ方と、スケジュール等が示され、委員からは「計画に海岸漂着物ごみの対策を明記すべき」「県が2050年を目標に掲げる脱炭素社会・ゼロカ

高橋ちづ子さん と語り合うつどい

参加者「政策や地域の問題よく理解できた」

「高橋ちづ子さん」と語り合うつどい」が19日、市内で開催されました。

衆議院議員の高橋ちづ子さんから国会報告の後、参加者から「共産党の安全保障政策は？」「再生可能エネルギー政策はどうなっている？」「種苗法改

正の考え方は？」など次々質問が出され、高橋さんが質問に答えました。

また、飲食の自営業者からは「持続化給付金は貰って一息ついていけるけれど、今後の商売を考えると不安」「動物愛護法改正により今後の商売がどうなるか不安」など率直な意見が出され、参加者からは政策や地域で抱えている問題がよく理解できたなどの感想が寄せられました。



（1面のつづき）

事業に向けた経緯や夏季休暇中の開催状況について、三瀬地区自治会事務局長から説明がありました。

豊浦地区では、平日1ポンの取組みとの連携も必要」「イノシン、サル、ハクビシン等による被害が深刻」などの意見が出されました。

現在、担当課を中心に庁内で第1次基本計画の評価検証作業を行うとともに、環境関連の取組みをしている団体・個人による市民座談会の開催や、今後11月までに市民1800人、事業者200社を対象に、「環境問題に関するアンケート」を行い、示された意見や結果について、今後の計画策定に活かすとしています。

は学校終了後、放課後子ども教室が行われ、45人の児童が登録し、11〜12人が毎日活用し、長期休暇時は2〜3人の児童が他地域の児童保育所を活用していました。

各児童保育所が大規模化し、他地域からの受け入れが出来なくなり、三瀬地区単体での児童保育事業を検討したが、現時点での立ち上げが困難であると判断したとのこと。

保護者負担と自治会負担で、市の「見守りサポート事業」の活用に至ったと報告されました。

開催時間は午前8時〜午後6時で、1日8〜9人の児童が通っています。

地域住民が有償で、1日4人体制（午前2人・午後2人）で見守り事業を行い、ポラン

ティアによる読み聞かせや、座禅等のプログラムを組み、1日を過ごしていたと報告がありました。

「支援者は60〜70代で、子どもの体力についていくのは大変だった。今回はコロナによる学校休業があり、短期だったので対応出来た。軽い骨折をした児童も1人いた」との報告もありました。

子育て世代の就労率を上げるためには、児童保育は必要不可欠です。

受け入れ困難な中で「見守りサポート事業」は、緊急的な対応であり、本来児童保育は児童の生活を安心・安全に過ごせるよう保障するものであり、市の事業として施設・運営を確保するべきです。

健康課入札結果（ ）内は予定価格

9月17日入札分
・令和2年度鶴岡市飲料水供給施設羽黒山地内径75耗導水管復旧工事（羽黒町手向地内）（入札3業者うち1業者辞退）
加藤建設管工 2,000,000円（2,170,000円）工期～3/1/8（落札率92.17%）

建築課入札結果（ ）内は予定価格

9月17日入札分
・市営美原住宅5・6号棟給水設備改修工事（美原町17-46、17-43）（入札6業者）
（株）板垣水道 8,350,000円（8,500,000円）工期～12/18（落札率98.24%）

土木課入札結果（ ）内は予定価格

9月17日入札分
・伊勢横内荒田1号線ほか1路線道路改良工事（東原町地内）（入札3業者うち1業者辞退）
（株）国善工業 3,130,000円（3,459,000円）工期～3/1/15（落札率98.49%）
・手向地区冠水対策 側溝改良工事
中止
・野中漆原線道路改良工事（東岩本地内）（入札3業者）
（株）金丸建設 12,400,000円（12,766,000円）工期～3/2/26（落札率97.13%）

下水道課入札結果（ ）内は予定価格

9月18日入札分
・一般廃棄物最終処分場排水管整備工事（改築第2工区）（大山一丁目地内）（入札5業者うち1業者辞退）
（株）佐藤工務 88,950,000円（89,561,000円）工期～3/6/18（落札率98.32%）

9月15日入札分
・市浄化槽事業 温海地区浄化槽設置工事（第1工区）（小名部地内）（入札4業者うち2業者辞退）
（株）大山設備 1,400,000円（1,456,000円）工期～11/30（落札率96.15%）
・一般廃棄物最終処分場排水管整備工事（改築第1工区）（栃屋地内）（入札7業者うち2業者辞退）
（株）山本組 88,900,000円（89,894,000円）工期～3/7/23（落札率98.89%）

9月14日入札分
・市公共下水道事業 汚水11112～116号新設工事（高坂地内）（入札9業者うち1業者辞退）
（株）鈴木工務店 44,700,000円（45,441,000円）工期～3/3/25（落札率98.37%）